認知症本人講演会

認知症になっても笑顔で生きる

9月は世界アルツハイマー月間です。

福岡県では県庁ロビーにて、認知症の人とその家族の実話を描いた映画「オレンジ・ランプ」のモデルとなった認知症当事者である丹野智文さんと、映画プロデューサー山国秀幸さんを招き、認知症になっても「自分らしく、笑顔で生きる」講演会を開催します。

日時 9/25 月 14:00～16:00

講師プロフィール

丹野 智文氏 （写真左）

1974年宮城県生まれ。東北学院大学を卒業後、県内のトヨタ系列の自動車販売会社に就職。

トップセールスマンとして活動していた2013年、39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断を受ける。

2014年には、全国の認知症の仲間とともに、国内初の当事者団体「日本ワーキンググループ」（現・一般社団法人「日本認知症本人ワーキンググループ」を設立した。9年前から、認知症の人が、不安を持つ当事者の相談を受ける「おれんじドア」を仙台市内で毎月開いている。

山国 秀幸氏 （写真右）

1967年生まれ、大阪府出身。映画プロデューサー、脚本家。社会課題をテーマにした映画を企画・プロデュースし、全国各地での市民上映会にも取り組む。

主な作品に介護職を取り上げた『ケアニン』シリーズ（2017、2020）、在宅医療・介護をテーマにした『ピア～まちをつなぐもの～』（2019）、認知症当事者をモデルに原作・プロデュースを担当した『オレンジ・ランプ』（2023）があります。

映画『オレンジ・ランプ』

Orange lamp

あらすじ：39歳のカーディーラーのトップ営業・只野晃一（和田正人）は充実した日々を送っていたが『若年性アルツハイマー型認知症』と診断された。不安と戸惑いの中、妻（貫地谷しほり）と娘たち とともに人生を諦めない、前を向いていくまでの実話に基づいた物語。

主　催：福岡県
開催場所：福岡県庁1階ロビー（福岡県博多区東公園7番7号）
参 加 料：無料
申し込み：申し込み不要

※席には限りがあります。来場多数の場合は立見となる場合がございますがご了承ください。その他中止の場合は福岡県若年性認知症サポーターセンターホームページにて中止のご連絡をいたします。

お問い合わせはこちらから
福岡県若年性認知症サポーターセンター
☎0930-26-2370
受付時間／月～金曜日 10:00～16:00
定休日／お盆・年末年始
ホームページ